



川上板金工業所

代表取締役 川上 正城 氏

デジタル化加速し生産性向上へ

金属製屋根の研究開発から製造、販売、施工管理までを一貫して手掛ける。主に西日本エリアで、商業・公共施設や工場、倉庫など大型建物の屋根を年間約250件施工している。

強風や積雪に強い自社ブランド「クローザーシリーズ」が主力商品。2004年、県内で台風被害が相次いだことをきっかけに開発に着手した。10年に第1弾を発表して以降、これまでにグッドデザイン賞を4度受賞し、昨年9月に先行開業した大阪市の「うめきた公園」にも採用された。

取り、製品を識別管理する「RFID」を採用、1月からの本格稼働に向け準備を進める。「生産性と品質の向上につながる投資は継続したい」。

地域貢献活動にも積極的だ。昨年6月、創業90周年を記念し「金毘羅ねぶたの祭典」を本社工場で開催。千人を超える来場者でにぎわった。今年5月に「みんなで灯そう」四国の夏祭り」を開催する予定で、約300個のちょうちんが飾られる。

脱炭素化に向けた事業では、断熱性能の高い屋根材を開発・販売。工場にエネルギー効率の高い製造機械、電動フォークリフトなどを導入した。

今年の大阪・関西万博で、参加型プログラム「共創チャレンジ」にも取り組む。「人材育成に注力して社員のレベルアップを促し、生産性・安全性・品質を一層高めたい」と力を込める。



川上板金工業所工場



- まんのう町四条858-1
- TEL 0877(75)5156

